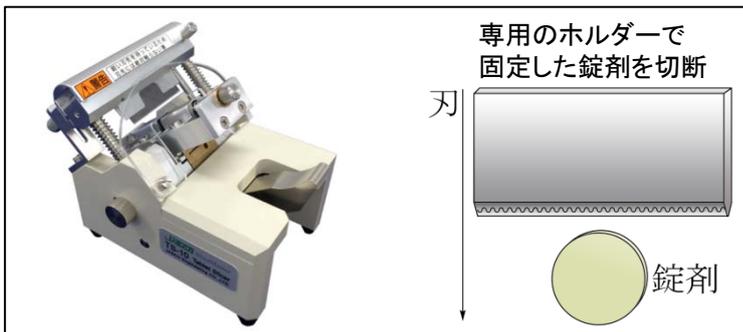


錠剤の広域断面における成分分布

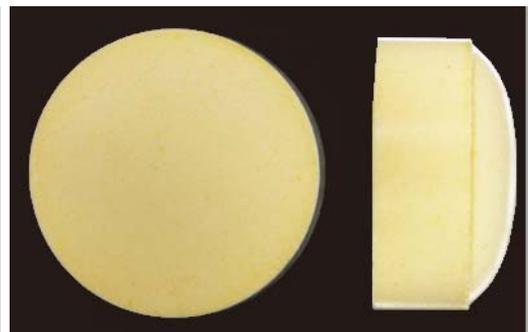
TS-10型 錠剤スライサーを用いることによって、丸みを帯びている錠剤の平滑な断面出しを行うことができます。また、刃による成分の引きずりを起こさないため、分光分析を行うことにより錠剤断面における薬効成分と添加剤の正確な成分分布を得ることができます。

①錠剤の断面出し

TS-10型 錠剤スライサーと錠剤の切断方法



得られた錠剤断面

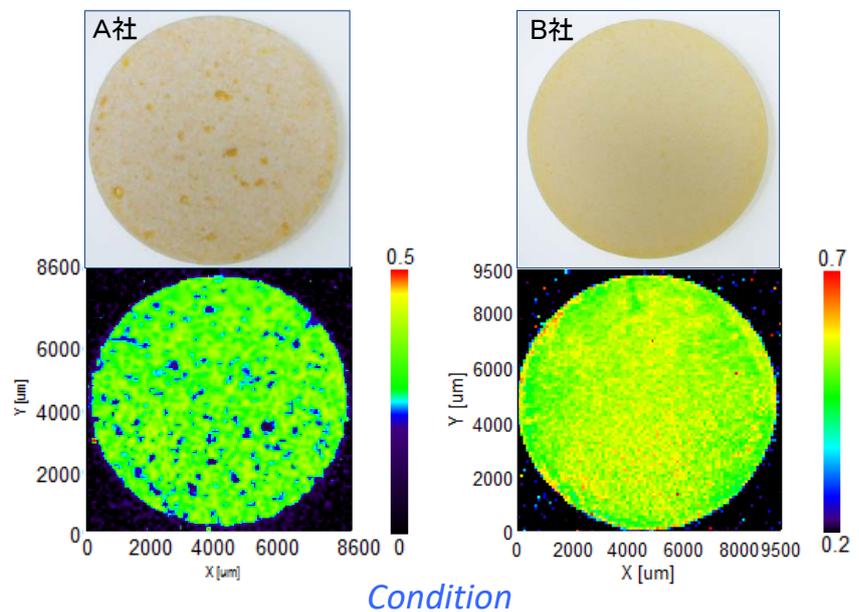


②錠剤断面の分析

測定時の錠剤固定とセット方法



コラーゲン錠剤観察像とタンパク質の分布



測定法: 顕微赤外反射法, 分解 8cm^{-1} , 全真空型IRT-5200

評価法: 各測定部位でピーク高さ値を算出しイメージング図作成

(一部採取し、別途顕微透過法でタンパク質の吸収を確認しました)

Master's Memo

- TS-10型 錠剤スライサーを用い、ゆっくり一定の速度で錠剤を切断すると平滑な広域断面を得ることができます。
- 固体試料ホルダーであるSampleCatcherを用いると錠剤を水平に固定した状態で測定を行うことができます。